

平成24年度第1四半期における運用状況等

(平成24年4月～6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

| | 頁 |
|--|---|
| 1. 平成24年度第1四半期（平成24年4月～6月）における運用環境について | 1 |
| 2. 平成24年度第1四半期（平成24年4月～6月）のポートフォリオ別の運用状況 | 2 |
| 3. ベンチマーク・インデックスの推移 | 4 |
| 参考：用語の説明 | 5 |

1. 平成24年度第1四半期（平成24年4月～6月）における運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

（4月）

初旬に発表された米雇用統計が市場予想を下回る弱い結果となったことやスペイン国債の入札不調を端緒に欧州債務問題の再燃懸念が広がったこと等により、国内外株式は下落しました。債券市場では、10年国債利回りは0.89%、米国10年債利回りは1.92%に低下しました。為替市場では、対ドルで80円割れ、対ユーロで105円台半ばまで円高が進行しました。

（5月）

株式市場では米雇用統計が市場予想を下回ったことや、ギリシャのユーロ圏離脱懸念の強まりやスペイン大手銀行の一部国有化を端緒とした金融システム不安等を背景に、世界的に大幅な株安が進行しました。債券市場では、安全資産を購入する動き等から10年国債利回りは0.82%、米国10年債利回りは1.56%に低下しました。為替市場では、米長期金利の急低下や欧州情勢の悪化等を背景に、対ドルでは78円台前半まで、対ユーロでは97円割れ近辺まで円高が進行しました。

（6月）

国内外株式は市場予想を下回る米雇用統計を受けて月初は大幅に下落したが、世界的な金融緩和期待等から反発、欧州財務相会議でスペインの銀行支援が合意に達したことやギリシャ再選挙で緊縮財政派が勝利したこと等を背景に上昇し、月末には欧州連合(EU)首脳会議での金融市場安定化に向けた合意を受けて一段高となりました。債券市場では、安全資産を購入する動きが継続し、月末には10年国債利回りは0.83%、米国10年債利回りは1.65%となりました。為替は、月初は対ドルで77円割れ、対ユーロで96円割れまで円高となりましたが、その後は連邦公開市場委員会(FOMC)で量的金融緩和第3弾が見送られたことやEU首脳会議の合意を好感してドルやユーロが買い戻され、対ドルで79円79銭、対ユーロで101円26銭で6月を終えました。

2. 平成24年度第1四半期(平成24年4月～6月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成24年度第1四半期(平成24年4月～6月)における被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成24年6月末の時価総額は1,563億27百万円となり、第1四半期総合収益は-32億10百万円となりました。また、修正総合利回りは-2.02%となりました。

(単位:百万円、%)

| 資 産 | 平成23年度末 時価総額 ① | 第1四半期 保険料・国庫補助 投下額等② | 計 ③=①+② | 平成24年6月末 時価総額 ④ | 時価総額 構成割合 | 第1四半期 総合収益 ⑤=④-③ | (参考) 修正総合 利回り ⑥ |
|------|-------------------|----------------------------|------------|--------------------|--------------|------------------------|-----------------------|
| 国内債券 | 107,216 | 1,012 | 108,228 | 108,982 | 69.7 | 754 | 0.70 |
| 自家運用 | 52,573 | 511 | 53,084 | 53,264 | 34.1 | 180 | 0.34 |
| 外部委託 | 54,643 | 500 | 55,143 | 55,718 | 35.6 | 575 | 1.05 |
| 国内株式 | 21,538 | 166 | 21,704 | 19,660 | 12.6 | -2,043 | -9.42 |
| 外国債券 | 8,103 | -252 | 7,851 | 7,585 | 4.9 | -267 | -3.35 |
| 外国株式 | 21,576 | -242 | 21,334 | 19,699 | 12.6 | -1,635 | -7.59 |
| 短期資産 | 90 | 330 | 420 | 401 | 0.3 | -19 | - |
| 合 計 | 158,523 | 1,014 | 159,537 | 156,327 | 100.0 | -3,210 | -2.02 |

- (注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。
2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。
3. 「第1四半期保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。
4. 短期資産の修正総合利回りの数値は、信託報酬及び保管手数料を含めているため、表示していません。
なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.015%、外部委託分が0.011%となりました。
5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成24年度第1四半期(平成24年4月～6月)における付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

| 区 分 | 資 産 | 平成23年度末 時価総額 ① | 第1四半期 繰入額等② | 計 ③=①+② | 平成24年6月末 時価総額 ④ | 第1四半期 総合収益 ⑤=④-③ | (参考) 修正総合 利回り ⑥ |
|-------|------|-------------------|----------------|------------|--------------------|------------------------|-----------------------|
| 付利準備金 | 短期資産 | 1,037 | 293 | 1,330 | 1,330 | 0.5 | 0.04 |
| 調整準備金 | 短期資産 | 906 | 136 | 1,042 | 1,042 | 0.3 | 0.03 |
| 合 計 | | 1,943 | 428 | 2,372 | 2,373 | 0.8 | 0.03 |

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成24年度第1四半期(平成24年4月～年6月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

| 資 産 | 平成23年度末 時価総額 ① | 第1四半期 繰入額等② | 計 ③=①+② | 平成24年6月末 時価総額 ④ | 第1四半期 総合収益 ⑤=④-③ | (参考) 修正総合 利回り ⑥ |
|------|-------------------|----------------|------------|--------------------|------------------------|-----------------------|
| 国内債券 | 11,319 | 1,459 | 12,777 | 12,933 | 156 | 1.33 |
| 短期資産 | 246 | 136 | 382 | 382 | 0.1 | 0.02 |
| 合 計 | 11,565 | 1,594 | 13,159 | 13,315 | 156 | 1.30 |

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成24年度第1四半期(平成24年4月～6月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

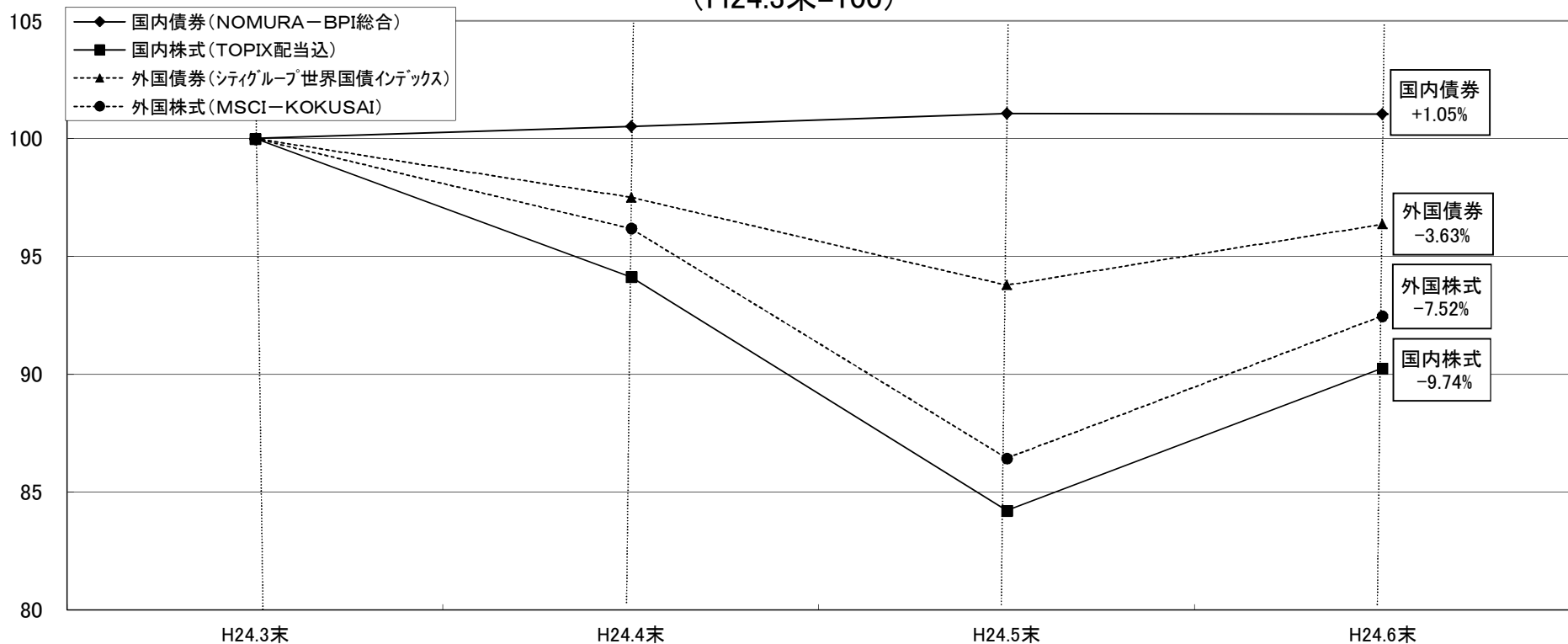
(単位:百万円、%)

| 区 分 | 資 産 | 平成23年度末 時価総額 ① | 第1四半期 繰入額 ② | 計 ③=①+② | 平成24年6月末 時価総額 ④ | 第1四半期 総合収益 ⑤=④-③ | (参考) 修正総合 利回り ⑥ |
|-------|------|-------------------|----------------|------------|--------------------|------------------------|-----------------------|
| 調整準備金 | 短期資産 | 812 | -55 | 757 | 757 | 0.2 | 0.03 |

(注) 1. 「平成23年度末時価総額①」欄は、平成23年度決算整理後の額となっています。

2. 「第1四半期繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H24.3末=100)



○運用環境

| | 平成24年3月末 | 平成24年4月末 | 平成24年5月末 | 平成24年6月末 |
|--------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 国内債券(新発10年国債利回り) | 0.984 % | 0.885 % | 0.823 % | 0.833 % |
| (NOMURA-BPI総合) | 338.183 ポイント | 339.940 ポイント | 341.790 ポイント | 341.726 ポイント |
| 国内株式(日経225) | 10,083.56 円 | 9,520.89 円 | 8,542.73 円 | 9,006.78 円 |
| (TOPIX配当込) | 1,109.28 ポイント | 1,044.27 ポイント | 934.25 ポイント | 1,001.27 ポイント |
| 外国債券(米国10年国債利回り) | 2.211 % | 1.915 % | 1.559 % | 1.646 % |
| (独10年国債利回り) | 1.794 % | 1.663 % | 1.200 % | 1.583 % |
| (シテグループ世界国債インデックス) | 305.17 ポイント | 297.56 ポイント | 286.22 ポイント | 294.11 ポイント |
| 外国株式(NYダウ) | 13,212.04 ドル | 13,213.63 ドル | 12,393.45 ドル | 12,880.09 ドル |
| (独DAX指数) | 6,946.83 ポイント | 6,761.19 ポイント | 6,264.38 ポイント | 6,416.28 ポイント |
| (MSCI-KOKUSAI) | 1,215.125 ポイント | 1,168.890 ポイント | 1,050.386 ポイント | 1,123.793 ポイント |
| 為替レート(対ドル) | 82.30 円 | 79.85 円 | 78.42 円 | 79.79 円 |
| (対ユーロ) | 109.59 円 | 105.68 円 | 96.95 円 | 101.26 円 |

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。